



虹のマーチ

2014.2
第27号

川越地区消防組合

川越地区消防組合設立40周年

平成25年4月1日に、設立40周年を迎えました。



昨年の川越地区消防組合定例表彰式・消防音楽隊定期演奏会での様子。
(今年の開催日時等については、8ページをご覧ください。)



春の全国火災予防運動

平成26年3月1日(土)から3月7日(金)までの間、全国一斉に春の火災予防運動が実施されます。

この運動は住民のみなさんの火災予防に対する意識を高め、火災から尊い生命と財産を守ることを目的として行われます。これから春先にかけて気温が変化するとともに、空気が乾燥し、火災が発生しやすい気候となります。

みなさんも火の取扱いに十分注意し、火災予防にご協力をお願いいたします。

住宅防火 いのちを守る 7つのポイント

【3つの習慣】

- ・寝たばこは絶対やめる。
- ・ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。
- ・ガスコンロなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。

【4つの対策】

- ・逃げ遅れを防ぐために住宅用火災警報器を設置する。
- ・寝具、衣類及びカーテンからの火災を防ぐために、防炎品を使用する。
- ・火災を小さいうちに消すために住宅用消火器等を設置する。
- ・お年寄りや身体の不自由な人を守るために隣近所の協力体制をつくる。

万が一、火災が起こってしまった場合、慌てずに行動しましょう。火が小さいうちなら十分消すことができます。すぐに火を消すことができるように、ご家庭に住宅用火災予防器具を設置するように努めましょう。

「消すまでは、心の警報 ONのまま」

今年度の全国統一防火標語です。火の元、火の取扱いには十分注意して、火事のない、安全・安心な明るい街にしていきたいです。

消防局予防課 Tel 222-0744

～防火・防災Q&A～



皆さんからの防火・防災についての疑問、その代表的なものについてお答えします！

Q1 大地震が発生した時、すぐに消防車はきてくれるの？

A 一度に災害が多く発生すると、消防機関は同時に出場することが困難になる可能性があります。その時に必要になるのがみなさんの力です。**普段から災害の備え、地域の協力体制**を築きましょう。



Q2 災害の備えて、どうしたらいいの？

A 代表的なものとして「身の安全の備え」「初動対応の備え」「確かな行動の備え」があります。

身の安全の備え

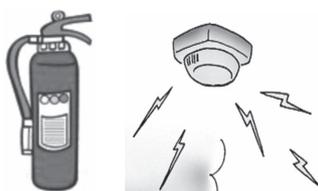


家具などの転倒・落下防止を図ろう！



家屋の強度を確認しよう！

初動対応の備え



火災の早期発見と初期消火に備えよう！

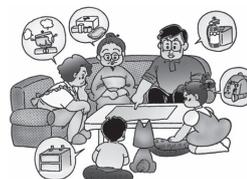


非常用品を備えよう！

確かな行動の備え



防災マップで地域の危険性を知っておこう！



避難場所を家族で話し合おう！

消防局救急課 Tel 222-0160

地震や台風などで大きな災害が発生した場合、多数のけが人が同時に発生する可能性があります。また、道路や電気、電話などライフラインの寸断により、消防車や救急車の到着が遅れることが想定されます。このような時、重要になるのが住民のみなさんによる応急手当です。あわてずに適切な応急手当を行えば、医療機関を受診するまでに症状の悪化を防ぐことができる可能性があります。自分や大切な人の命を守るためにも、いざという時に役立つ応急手当を身につけましょう。

当消防組合では、住民のみなさんに応急手当を学んでいただけるよう毎月救命講習を実施しています。

いざという時のための「備え」として、多くの方に受講して頂くようお願いいたします。

講習の日程などについては、当消防組合ホームページをご覧ください。消防局救急課までお問い合わせ下さい。



「いざという時に備えて」
～応急手当を学びましょう～

Q3 地域の協力体制を築くために、どういふことに心がけたらいいの？

A 地域の防災訓練に参加して、防災行動力を高めておきましょう。



- ・ 参集訓練、初期消火などの訓練に参加して、地域の協力体制を築きましょう！
- ・ 応急手当、AEDの使い方などを身につけましょう！



地震発生

みなさんの力を結集しましょう！



・ ラジオや携帯テレビ等から正しい情報を得る。
・ 近隣の住宅に呼びかけ、安否を確認する。



・ 近隣の人達と協力し、ケガ人の救出・救護や初期消火をする。

※公衆電話の設置場所は、NTT東日本ホームページ内に掲載されています。
消防局指揮統制課 TEL 226-7408

災害などの緊急時、私たちはどうしても家族の安否を確認するため、電話を利用したい気持ちに駆られると思います。しかし大規模災害時は、通話が制限されて電話がつながりにくくなってしまう。そんな時、私たちの強い味方となってくれる発信ツールがあります。それが「公衆電話」です。

最近、携帯電話の普及などで設置数が減少していますが、公衆電話は大規模災害時に「災害時優先電話」という扱いになり、通話が優先されるため、通常の電話よりつながりやすくなる他、無料で利用できます。

また、緊急用の対策として非常用の「特設公衆電話」を避難所などに配備し、通信方法を確保することや「災害用伝言ダイヤル（171）」を利用し、安否情報を確認するなど、災害時の通信対策が整備されてきています。

これらの緊急発信ツールは東日本大震災の際、被災者の方々をはじめ、帰宅困難者にも通信手段として活用されました。

災害に備えて家族で連絡方法を話し合うこと、また、災害時に利用方法が分からない人に教えてあげること、これは「自助」「共助」につながります。身近な公衆電話の設置場所及び通信の利用を事前に確認し、災害時に備えるようにしましょう。



災害時の発信ツール

川越市消防団だより

第三号

第2回火災消火活動訓練を実施



二又分岐金具による2線放水



島田折りホース延長要領



2分団による4線包囲隊形要領

川越市消防団は貫井達也団長指揮のもと、平成25年9月～10月の間、3分団ごと計4回、昨年が続いて第2回目となる実践形式の訓練「火災消火活動訓練」を川越北消防署で実施しました。「安全で安心な街づくり」を目指し、実践的・応用的な消火活動を想定、団員の現場活動上の知識習得、技術向上を図るとともに、各分団相互及び消防職員との連携を強化し、火災消火活動の安全性、確実性および迅速性を確立することを目的として、川越北消防署及び南古谷分署職員指導のもと行いました。

訓練は、昨年習得した「島田折りホースの作成・延長・肩掛け収納要領」「ホースカー及び二又分岐金具による2線放水隊形要領」を再確認するとともに、「木造建物火災を想定した包囲隊形要領」「注水要領（ストレート注水・噴霧注水）」「緊急時の対応方法」を応用訓練として実施しました。島田折りホースの災害現場での素早い展開やその機動性を再確認することができ、また、応用訓練では火災現場での分団間連携方法及び迅速な放水方法や、放水している筒先に急に高い圧力がかかってしまったときの対処方法など習得することができました。そして災害現場では、職員と他分団員等と「安全」「確実」「迅速」にしっかりと連携をとりながら、活動することの重要性を学び、大変充実した訓練となりました。本訓練を各分団に持ち帰り、実際の災害現場で活用していきます。

活躍する女性消防団員

現在22人の団員が活躍する川越市消防団女性団員。平成25年10月30日に全国の女性消防団員2700人が参加して行われた第19回全国女性消防団員活性化ぎふ大会。川越市消防団を代表して齋藤副団長が活動内容を「女性消防団活動の足跡と絆」として発表するなど大活躍中です。

女性団員は救命講習班・防火啓発班・広報班で活動しており、今号では救命講習班の活動をご紹介します。

119番通報から救急車到着まで、どのくらいの時間がかかるのでしょうか？「全国平均で約8分！」しかし、心臓が止まってから3分で脳が重大な損傷を受けると言われています。

「心肺蘇生」・・・胸骨圧迫(心臓マッサージ)と人工呼吸。

「AED」・・・自動体外式除細動器の使い方をマスター。

「異物除去」・・・喉につまった異物は直ちに除去。

「止血法」・・・出血の際は正しい止血法を行う。

救命講習班では、上記救命処置及びその他けがの処置に有効な三角巾法や、窒息を防ぎ呼吸を楽にする回復体位等を指導する「普通救命講習」を行っています。いつ起きるかわからない災害に対して、一人でも多くの市民の皆さまに応急手当の知識と技術を学んでいただけるよう、日々努力しています。



全国大会で発表する齋藤副団長



普通救命講習会

地域に密着した消防団活動

山田分団及び山田地区5自警隊は「地域との連携」を確かなものとするため、山田小学校において、平成25年12月1日(日)に山田支会主催の山田地区合同防災訓練に参加し、新井分団長を中心に地域一体となった防災意識の啓発を図りました。

訓練は、大地震発生を想定し、同地区の住民約300人が山田小学校校庭へ集まりました。自主参集により避難及び所在の安否確認をする訓練と、消防職員の協力により、なまず号による地震体験訓練、煙体験ハウスでの火災避難訓練、AEDを使用した応急手当体験などを行いました。その後、同地区内5自警隊50人の服装、規律並びに機械器具について、田中支会長より点検を受け、小型ポンプによるポンプ操法展示、並びに分団消防車も加わった一斉放水の展示を行いました。

今回の訓練を通じて、地域住民みなさんの防災に対する意識高揚が図れ、災害発生時には「自分たちの地域は自分たちで守る」という意識をご理解頂けたとともに、地域で活動する消防団及び自警隊も地域の一員としてのつながりを深めることができました。川越市消防団は、引き続き各自治会と連携し地域防災、減災のために地域に密着した活動を展開していきます。



団員紹介

川越市消防団に今年新たに入団した新人達はやるき元気いっぱい。そんな二人をご紹介します。

【第2分団 今井 智之(会社員)】

入団のきっかけは東日本大震災。テレビで流れる被災地の映像に、自らも被災者でありながら、地域のために一生懸命活動している消防団員の姿を見て感銘を受け、自分もこの川越で何かできることがあるのではないかと思い始めた時、知人の消防団員の方からその活動について話を聞くことが出来ました。

火災現場への出動、警戒活動、操法大会、地域防災フェアなど様々な活動をしていることを知り、自分もその一員となり、地域のために少しでも力になればと思い入団しました。

入団したてでまだまだ不慣れですが、がんばりますのでよろしくお願ひします。



【女性団員 山口 静香(団体職員)】

風情ある景色と歴史に時を刻む小江戸川越が好きで移り住み、さっそく目にした川越市消防団だより。以前から消防団やボランティア活動に興味があり、すぐにでもという気持ちがありつつ、仕事との両立や経験のない活動に参加する自信がなくなりましたが、やはり地域貢献への気持ちが強く、入団しました。

防災訓練や救命講習など、初めての経験ばかりでしたが諸先輩方がとても親切、丁寧に指導してくださり、安心して活動に参加することが出来ています。

仕事との両立も出来、地域住民の方々との交流を通じ人とのつながりの喜びもあり、切望していた女性消防団員として活動できることに嬉しく思っています。これからも地域住民の方々が無事・安全に生活できるように活動が続けていきますのでよろしくお願ひします。

私たちと一緒に消防団で地域活動してみませんか？ HPもありますのでぜひご覧ください。

興味のある方は 連絡先:消防局 総務課 消防団担当 TEL 049-222-0741

川越市消防団

検索



川島町消防団だより

第三号

川島町総合防災訓練

平成25年9月1日、川島町コミュニティセンター北側広場で第28回川島町総合防災訓練が実施されました。

川島町消防団は、一斉放水のほか初期消火訓練、応急救護訓練、救出救助訓練など多くの訓練に参加しました。また今回、川島町として初の試みとなる全住民を対象としたシェイクアウト訓練（地震発生直後、各自が身の安全を図る行動訓練）や全世帯を対象とした安否確認訓練が実施されました。

展示・体験コーナーでは、防災意識の高揚を図るため、様々なコーナーが設けられました。

川島町消防団では、今後も住民及び防災機関と一体となって、災害対応力の強化、防災意識の高揚に努めていきます。

また、東日本大震災の教訓を生かし、地域の方々が協力し助け合う「共助社会」の実現を目指してまいります。



応急救護訓練の様子

一斉放水の様子

消防特別点検



分列行進

消防操法

平成25年11月10日、川島町上猪にある埼玉県中央防災基地で平成25年度川越地区消防組合消防特別点検が実施されました。

消防特別点検は、消防の職務遂行に必要な規律、機械器具、消防操法等の総合的な点検を行い、消防活動に万全を期するために毎年行われています。

当日は、服装点検・部隊点検・車両点検のほか、全分団による一斉放水や分列行進を行いました。

また、川島町消防団の代表として、第三分団が消防操法を行いました。

点検者の川合管理者（川越市長）からは、点検の結果が良好であると講評をいただき、無事に終了しました。

今後も川島町消防団では、地域の安全安心を守るため、団員一人ひとりが、規律の向上と技術の習得に励んでいきます。

☆活かす、きらめく、女性のチカラ☆～女性団員活動紹介～



応急手当指導の様子

女性消防団員は、活動4年目を迎え、地域の防火教室や火災予防の街頭広報などに積極的に参加しています。

今年度は、小見野地区の自主防災訓練や川島春まつりで応急手当の指導を行いました。

今後はこれまでの活動に加え、手作りの紙芝居などを活用して、小さい子供たちの防火教育も行っていきたいと思えます。

ほかにも女性ならではの力を生かした活動を実施していきます。

また、活動の幅を広げるため、新たに4名の仲間を迎えました。

住民の皆さんのお役にたてるよう、女性団員一同、頑張っていきますのでよろしくお願いいたします。



かわべえとかわみんも女性団員の活動を応援しているよ！

川島町消防団 活動紹介

川島町消防団には、第一分団から第六分団までの六個分団があります。今号では、第四、第五、第六分団、団本部の活動をご紹介します。

第五分団【八ツ保地区】



第五分団は川島町八ツ保地区を管轄しています。

毎月2回の警戒巡視のほか、体育祭時のポンプ車操法実演、自警消防団との小型ポンプ操法の訓練・指導等の活動を行うなど、地域の安全、安心に日々努めています。

これからも消火訓練、水防訓練、普通救命講習等、個々の技術を磨き、「地域の消防団」として有事の時のために備えたいと思います。

第四分団【出丸地区】



第四分団は地元へ少しでも貢献できるように、地域住民の皆さんとのつながりを大切に活動しています。

また、平成26年度の川島町防災訓練は出丸小学校で実施されます。有意義な訓練を行い、地域の防災意識をより一層高めていただけたらと思います。これからも地域住民の皆さんが安心して暮らしていただけるように、消防団活動に励んでいきます。

消防団本部



消防団本部には、団長・副団長のほか、女性消防団員が所属しています。

女性団員は町内イベントに参加し、応急手当の普及啓発活動や火災予防広報活動に取り組んでいます。また、単身高齢者世帯の防火訪問も行っています。

今年度は4名の新入女性団員が加わり、ますます活躍の場が広がりそうです。

今後も団本部一同、「安全安心な街づくり」を目指し、川島町消防団の活性化を図っていきます。

第六分団【小見野地区】



第六分団は、管轄地域の小見野地区を毎月2回巡回し、「カンカンの合図」と共に予防消防の広報活動に努めています。

小見野地区自主防災訓練に参加し、有事の際にどのような行動をとればいいのかを消防署員と共に指導しました。

今後は、火災はもちろん自然災害に対し、日頃の訓練を糧に安全・安心な地域を目指して活動して行きたいと思います。

また、地元愛のある熱い仲間を募集しております。

平成24年度決算

消防局総務課 TEL 222-0741

歳入

負担金 (消防行政を運営するのに必要な負担金 (組合を構成する川越市・川島町からの負担金))	4,354,524,374円 (92.7%)
使用料及び手数料 (消防関係検査等の手数料等)	6,462,828円 (0.1%)
財産収入 (基金運用の利子等)	2,132,409円 (0.0%)
繰越金 (前年度から持ち越されたお金のこと)	112,932,087円 (2.4%)
諸収入 (受託収入等の他の収入科目に含まれないもの)	36,435,938円 (0.8%)
組合債 (金融機関等からの借入金)	174,800,000円 (3.7%)
国庫支出金 (一定の事業に使いみちを特定して国から交付されるもの)	10,951,000円 (0.2%)
歳入合計	4,698,238,636円

歳出

議会費 (議員報酬等の議会運営費)	4,677,703円 (0.1%)
総務費 (組管理者・公平委員・監査委員等の特別職の報酬等の経費)	2,564,827円 (0.1%)
消防費 (消防・救急等に必要な経費及び消防施設の建設費等)	4,231,755,100円 (93.4%)
公債費 (借入金の元金、利子の返済のための経費)	292,299,748円 (6.5%)
歳出合計	4,531,297,378円

※比率(%)の合計は、端数処理の関係で100%とならない場合があります。「0.0」は、該当数値はあるが表示単位未満のものです。

消防局総務課
TEL 222-0741

●川越地区消防組合定例表彰式
 閉式時間 午後1時
 閉式時間 午後2時15分
 管理者(川越市長)表彰、消防団長表彰
 ●川越地区消防組合消防音楽隊第9回定期演奏会
 開演時間 午後2時30分
 閉演時間 午後4時(予定)
 ぜひ、この機会に消防音楽隊の演奏をお聴きください。

川越市市民会館で定例表彰式と消防音楽隊定期演奏会を開催します。入場無料。
 開催日 平成26年3月2日(日)
 ●川越地区消防組合定例表彰式

川越地区消防組合定例表彰式
 消防音楽隊第9回定期演奏会

消防局予防課
TEL 222-0744



昨年の幼年消防クラブ絵画展の様子

【開催日時・場所】
 ●3月1日(土) 午前10時30分～午後4時30分
 アトレ川越6階コミュニティールームA
 ●3月2日(日) 午前11時00分～午後4時00分
 川越市市民会館
 ※開催日により、時間と場所が異なりますので、ご注意ください。

毎年、春の全国火災予防運動期間中に、幼年消防クラブの絵画展を開催しています。園児たちの描く個性あふれた消防車などの絵をぜひご覧ください。
 皆さまのご来場をお待ちしています。

幼年消防クラブ絵画展

虹色通信 ～新車両★ミニ消防車～

多くの人に火災予防を広めるため、川越地区消防組合設立40周年記念事業の一環として、広報用ミニ消防車を作成しました。

平成24年度の廃棄車両に積載してあった電動ホースカーを再利用し、職員が作成しました。

平成26年3月2日(日)川越地区消防組合定例表彰式・消防音楽隊定期演奏会でお披露目となり、「ときも・かわべえ」とともに火災予防運動を呼びかけます。

消防局予防課 TEL 222-0744



消防局総務課
TEL 222-0741

- ・同
- ・川越市岸町一丁目
- ◎救急活動協力に貢献
- ・同
- ・同
- ・川越市大字下松原
- ◎消火活動協力に貢献
- 感謝状が贈られました。

- 伊藤浩二さん
- 皆川利幸さん
- 佐藤悦子さん
- 佐藤沙織さん
- 佐藤 裕さん
- 佐藤 裕さん

ありがとうございます

消火・救急活動の協力に対し、消防局長から

消防だより

虹のマーチ

2014.2
第27号

□発行/川越地区消防局 総務課

〒350-0823川越市神明町48-4 TEL 049-222-0741

http://www.119kawagoechiku.jp/

火事・救急・救助は119番 消防テレホンサービス TEL223-0700 *かけまちがいにご注意ください。

平成25年中の火災・救急・救助件数

火災	133件
救急	15,740件
救助	190件

119番通報回数は25,407件でした。

